

ジャガイモと映画

＜じゃがいも、チスル、じゃがいもシンフォニー、SPUD＞

Web ジャガイモ博物館館長

あさま かずお
浅間 和夫

はじめに

今号から「ジャガイモと映画」の連載を開始することとなり、ジャガイモに関わる映画をできるだけ多く紹介したいと考えているのでご一読願いたい。

まず、今号では、ジャガイモがタイトルにある映画から選択した。

1 ジャがいも（カムジャ）

1987年、韓国映画。監督：ピョン・ジャンホ。映画化は1968年にもされていた。

タイトルはずばり、「じゃがいも」（参考ホームページによる）であるが、小説の書かれた1920年代ころは地方によってサツマイモ（コグマ）とジャガイモ（カムジャ）の区別が明瞭ではなかった、とする説もある。

わが国でもイモと言えば北海道ではジャガイモ、四国ではサツマイモ、九州ではサトイモを指すことが多い。主人公の女性ポンニョの悲劇的な運命を通し、民族の受難を語ろうという原作の意図は、商業的な作為もあって、時代的な背景などが曖昧になったと言われている。

その悲劇の時代の農村社会を描いた近代韓国小説の先駆けで有名な金東仁きむどうじんの同名小説にコメディを加えた作品である。

ポンニョは、僅かな金でかなり年上の男

に売られる。その夫は怠け者。塩田で働くうちに、塩田の監督に体を奪われ、以後道德感などは捨ててしまう。雑貨屋の主人、漢方薬店の主人、中国人ワンさんの情婦になったポンニョは、いつのまにか豊かな生活を手に入れるようになる。

ところが、ワンさんが新しい妻をめとると、ポンニョは嫉妬心に燃えて鎌を手二人の部屋に突入するが、ワンさんの手で殺されてしまう。彼女の屍体は、夫、警官、医者 of 駆け引きで秘密裏に脳溢血死として処理されて共同墓地に向かう...

参考ホームページ（1～3に共通）

輝国山人の韓国映画

http://www.hf.rim.or.jp/~t-sanjin/pyonjanho_jagaimo.html

2 チスル - 終わらない歲月（英語題：Jiseul）

2012年、韓国映画。監督：オ・ミョル。
ちえじゆ 済州島と言えば、綺麗なところ、治安の悪いところのイメージがある。さらに遡れば、朝鮮戦争休戦後の、南朝鮮の総選挙に対し、1948年4月3日この選挙は南北分断につながるとしてこの済州島で左翼勢力が武装蜂起し、その弾圧で6万人が犠牲となったところである。映画はこの「済州島4・3事件」勃発当時、西帰浦市 そぎぼ 安徳面 あんとく トングア

ン里の クンノプクェ洞窟に避けて身を守った住民の実話を元に作られた。

タイトルの「チスル」は「カムジャ」(ジャガイモ)の済州島方言。山に隠れた島民たちがジャガイモを分け合って食べる心の痛むシーンがあるため、チスルになったのであろう。映画の撮影は寒さ厳しい時期に行われたが、スタッフは暖かいチスルを腹いっぱい食べていたとか。

予算が少ない中でつくられた独立映画としては異例の興行成績を残したと言われていいる。作品はモノクロであるが、カラー以上に観る人の想像力を働かせる効果があり、東洋の水墨画にも似て絵画的な映画となった。

3 ジャがいもシンフォニー (カムジャシンフォニー)、(英語題: Potato Symphony)

2009年、韓国映画。監督: チョン・ヨンテク。

舞台は韓国北部金剛山や「冬のソナタ」のドラマで有名になった「春川」がある江原道^{かん}の田舎町で、農業以外にこれといった産業のないところ。そこで暮らす働き盛りの男たちは、満ち足りない生活をしていた。

この街唯一の有名人といえば、ヤクザのチンハンで、自分を退学させた学校に多額の奨学金を寄贈して、今では地元の有名人。そんな街に家業を継いで悶々としているチョルビョクたちの前に、かつて伝説の不良として恐れられたベク・イがソウルから帰って来る。これだけ一癖ある者が揃えば当然ヤクザの抗争が起きる。ベク・イたちが内にもつ闘争本能が外に出て…と展開し

ていく。

これを本コラムに選択したのは、英語のタイトル『Potato Symphony』が目に入ったからであるが、そのつけられた由来は残念ながら判らない。現在、日本未公開のようである。

江原道は山間で岩の多い所であるが、ジャガイモやトウモロコシは穫れる。そこの人々の気質を表現する言葉に「カムジャバウイ」(ジャガイモ岩石)があり、その意味には平凡、愚直、誠実等々、清濁色々含まれるので、登場人物を探ると、そのどれかにピッタリなのが見つかるであろう。

4 SPUD (和訳: ジャガイモ)

2010年、南アフリカ共和国。監督: ドノヴァン・マーシュ。John van de Ruitの同名の小説を映画化したものである。

主人公のSPUD (スパッド) のあだ名をもつジョーンの周りのTHE CRAZY 8グループ、加えてSPUDS FAMILY、THE GIRLS OF SPUDなどが織りなすコメディ映画。タイトルのSPUDは主人公ジョーンに対し学校の思春期の仲間がつけたあだ名。元来、ジャガイモを指す俗語である。1996年のイギリス映画『Trainspotting』にも気の弱いspud君がいた。アメリカでも同名のよく知られたマスコットがあり、また創刊40数年となるジャガイモ産業総合誌『Spudman』と言うものもある。

全寮制の学校に入学した主人公の学園生活での成長ぶりの描写、それに問題ある先生との交流をも加え、楽しさと色気などで味付けしている。